

事務事業評価シート

(H.30)No.	4022-2	(H.29)No.	4022-2
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)(道路河川室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	道路河川室	小川 光	

会計区分	事業コード	392003
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施 策	2	道路整備
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
観光ルートや生活道路として重要な役割を担う各路線を整備することにより、交通利便性の向上を図り、円滑で安全な通行を確保します。
事業内容
国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、既存道路の利便性・安全性向上を図るため、計画的に道路整備を実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	主な事業の実績・計画	<H28繰越分> 市道改良(2路線) 22,168千円 ・工事 L=140m	<H29現年分> 市道改良(3路線) 21,347千円 ・工事 L=109m	<H29繰越分> 市道改良(3路線) 44,867千円 ・工事 L=108m ・委託(地質調査・設計修正)	<H30現年分> 市道改良(3路線) 55,118千円 ・工事 L=180m	市道改良(3路線) 38,000千円 ・工事 L=110m	市道改良(3路線) 193,700千円 ・工事 L=520m

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)	
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分				
①直接事業費	22,168千円	21,347千円	44,867千円	55,118千円	38,000千円	193,700千円	201,900千円	
内訳(千円)	国・県支出金	12,192	11,726	24,677	27,530	19,000	96,850	100,900
	地方債	9,900	9,600	20,100	27,500	19,000	96,800	101,000
	その他()							
	一般財源	76	21	90	88	0	50	0
人工数	職員	0.42人	0.52人	0.62人	0.68人	0.68人	0.68人	0.68人
	臨時職員等							
②概算人件費	3,108千円	3,848千円	4,588千円	5,032千円	5,032千円	5,032千円	5,032千円	
①+②総事業費	25,276千円	25,195千円	49,455千円	60,150千円	43,032千円	198,732千円	206,932千円	

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
道路事業予算の減少により、事業の長期化が顕著となっていることから、柔軟な整備手法の導入による事業推進の検討や協議が必要となっています。事業計画に基づき一定の効果が現れる事業に取り組みました。関係する組織や団体との連携により、引き続き安全な交通環境を確保するため、整備計画道路の改良を推進します。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
社会資本整備総合交付金など、国の補助制度の活用により、計画道路の整備に取り組みます。柔軟な整備手法について検討及び協議を行い、引き続き計画道路の整備を推進します。

6. 事務事業の取組に関する市の計画